

「地域中核・特色ある研究大学の連携による 産学官連携・共同研究の施設整備事業」の採択決定について

本事業は、地域の中核・特色ある研究大学として機能強化を図る大学に対し、共同研究拠点化に向けた施設やオープンイノベーションの創出等に必要な施設の整備に支援されるもの。

【クリーンエネルギー研究拠点施設整備】

提案大学：山梨大学 参画機関：信州大学

○概要：

本学の最大の強みである水素・燃料電池を中心としたクリーンエネルギー研究により、わが国のエネルギー供給構造の転換 GX におけるクリーンエネルギー研究推進の司令塔となる拠点として、同研究分野関連の実験、共同研究および大学発ベンチャーのために活用する施設を本学甲府東キャンパスに整備する。

社会実装のための研究拠点であり、地域産業の生産性向上や雇用創出を牽引し、自治体、産業界および金融業界等との協働を通じ、地域課題解決、更には「2050年カーボンニュートラル」の実現を目指す。また、ベンチャー創出事業に強みを有する信州大学が連携機関として参画し、本施設を一部共同利用する。この連携により、お互いの事業化力の向上を図るとともに、クリーンエネルギーの社会実装を山梨県から長野県への拡大を図る。

本施設は燃料電池、太陽光発電およびグリーン水素等の再生可能エネルギーのみを利用し、地中熱の利用などエネルギー効率を最優先とした ZEB (Net Zero Energy Building) とすることで、これらの実証施設として利用するとともにクリーンエネルギー研究の拠点としてのシンボリックな建物とする。

○整備予定の施設内容

名称：ゼロミッションみらいラボ Zero Emission Mirai Lab

場所：甲府キャンパス

建物規模：地上2階、建築面積：391 m²、延床面積 1,564 m²

1階	共用実験室	クリーンエネルギー研究の拠点として国内外の研究機関、参画機関および民間企業との共同研究を実施。「水素・燃料電池産業技術人材養成講座」、クリーンエネルギー関係の学生および市民対象の実験に利用。
2～3階	オープンラボ・共同研究ラボ	参画機関、民間企業との共同研究および大学発ベンチャーに利用。
3～4階	教員室・実験室	研究の効率化を図るため、学内に分散しているクリーンエネルギー関係の教員および実験室を集約。

○事業規模：10億円

【神経細胞-グリア細胞研究を加速する2拠点施設整備】

提案大学:順天堂大学、 連携大学:山梨大学

○概要：

「高齢者を加齢性疾患から守った上で、若年者を含む全世代の生活向上と健康増進を図る」という地球規模の社会課題を解決する。

順天堂大学は、世界を先導する特色あるパーキンソン病などの脳神経科学分野の臨床医学研究・基礎医学研究を核とし、精神医学や感覚運動神経学などを含む神経科学分野全般の研究力を活かし、当該分野のパラダイムシフトに関わる重要な学際領域であるグリア細胞研究に実績を有する山梨大学と連携し、世界トップクラスの研究力の向上、拠点発スタートアップの創出を目指し、変革に対応しうる人材を育成する。

この若手人材を核とした新たな当該研究領域における産学官連携ハブとして相補的な機能を有する2拠点施設を、順天堂大学、山梨大学の2箇所に整備する。

○整備予定の施設内容

名称 : 「ニューロン-グリア クロストークセンター山梨 (NGCC 山梨)」
場所 : 山梨大学・医学部キャンパス
建物規模 : 地上2階/地下なし、建築面積 : 519 m²、延床面積 : 1,031 m²
機能 : 若手研究者、企業（共同研究、寄付講座）向け
オープンラボ併設ウェット研究施設（共同利用機器を整備）

○事業規模：10億円